

第6回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
1	<p>○災害に強いまちづくりについて</p> <p>私ども高齢者は、いざ大災害があった場合に、災害に遭われた方に手を差し伸べる立場ではなく、手を差し伸べていただく立場である。このような立場の者にとって、八戸市で作っている避難所運営マニュアルについては非常に問題があるのではないかと思うが、議員の方々はどのようにお考えになっているのか。また、胸を張って、防災に強いまちであると言えるかどうかお聞かせいただきたい。</p> <p>(田面木地区・男性)</p>	<p>最近では、集中豪雨や、6年前の東日本大震災などもあり、胸を張って災害に強いまちだとは言えなくなっていると思う。</p> <p>我々が今一番考えなければならないことは、災害に対して、自助、共助、公助ということで、身近で起きる災害をどのように防ぐかということ。まず、自分の命は自分で守る自助努力。それができない場合に隣近所で助けていただく共助という考え方、普段から立場の弱い方、高齢者の方々をどのように見守って、災害のときに助けるかというような町内会単位の地域のあり方がその次に問題になると思う。そして最後に公助ということで、市役所や自衛隊などが、その次にどういう形で人々を助けるかということになると思う。</p> <p>いろいろな課題はあろうとも、やはり市民が安全に暮らせるためには普段からの備えが大事だろうと思うので、地区の方々や周りの方々を含めて、常にそういうふうな災害のことを想定したり、普段からその努力が必要だということは共に考えていかなければならないだろうと思う。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました。</p> <p>(平成30年4月5日)</p>

第6回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
2	<p>○相談窓口について</p> <p>市に相談に行くと、必ず、あれだからダメ、これだからダメと言われるが、クレームではなく願望として理解し、相談に乗ってほしい。例えば、総務省が500億の予算で、東北・北海道にクラウドコンピュータセンターを設置するということだったので、ぜひこれに手を挙げてくださいとある課にお願いしたが、課で検討すらしている節が見えず、結局放置されたことがある。このような場合、どこの窓口で相談にいけばいいのか教えてほしい。</p> <p>(長者地区・男性)</p>	<p>行政の窓口というのは、執行の部分がボリュームとして多い。願望をどう取り入れるかとなると、まさに市議会が窓口であろうかと思うので、市議会を活用していただきたい。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました。</p> <p>(平成30年4月5日)</p>

第6回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
3	<p>○新大橋の架け替え整備について</p> <p>新大橋を架け替えするのに10年かかると聞いたが、10年かかることの経済損失と、また、国や県から借りたとして、その利息の返済とどちらが大きかったのか。それとも、このような公共事業は借金して速やかにやることができないのか。例えば、九州の道路が陥没したとき、1週間くらいで復旧していたが、大事な大橋なら、そのように急いで架け替えることはできないものか。</p> <p>(田面木地区・女性)</p>	<p>一般的に、港湾・漁港の仕事や川の仕事というのは、それぞれ漁業権が入っている。そのことにより、工事の期間が制限されているのが現実である。</p> <p>それぞれ内水面の組合が入っており、馬淵川については三戸が漁業権を持っている。今、盛んに鮭が遡上している時期であり、三戸では養殖事業を実施しているため、その期間は工事は中断される。このようなことから、普通の工期より年月を要すると聞いている。</p> <p>建設常任委員会において、人口減少社会の中で、国からの交付金、八戸市が独自に得る税収等の中で賄いながら、大事なライフラインである橋をどのように維持していくか検討した中で、10年という判断に至ったという話があった。同委員会でも10年は長いという認識はあるが、起債も計画的に行われており、工法など技術的な難しさもあるとのこと。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました。</p> <p>(平成30年4月5日)</p>